

平成25年度第7回 新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討  
委員会専門部会

日時 2013年7月3日(水)

午前9時

場所 職員会館ミーティングルーム

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 専門部会・検討委員会の開催結果について(資料1-1, 1-2)
- (2) 市民ワークショップ・庁内周知の進め方について(資料2)
- (3) その他

3 閉会

(事務局 企画政策課 内線2171)

平成 25 年度第 6 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門部  
会議事概要

1 日時 2013 年 6 月 19 日（水）午前 9 時～正午

2 場所 職員会館ミーティングルーム

3 議題

(1) 進捗状況等報告

ア 議員全員協議会の会派説明会の状況について

基本的な確認事項が中心であった。

イ 所属長説明会について

ほぼ全課に参加いただいた。特段の意見はなかったが、分野別重点課題の調査手法については検討委員会、総務主管者会議で改めて説明する。

(2) 第 5 回専門部会の開催結果について

資料に沿って説明した。

(3) 市民ワークショップについて

(出欠について)

- ・ 公平性から 1 日交替が良い。
- ・ 人数が想定されているのなら別だが、最低限の人数で行いたい。
- ・ できるだけ専門部会からの従事をお願いしたい。人数は働きかけによるので、PR をしていく。郷土づくり推進会議には既に周知している。市民の声を聞くということは積極的に声かけをしていく。

(周知方法について)

- ・ 市民活動推進センターの推進センターニューズレターに同封する。約 600 団体で比較的地域課題に関心のある方が多い。7 月 8 日（月）発送予定だと思うので、7 月 5 日頃までに市民自治経由で進めていく。
- ・ カラフルふじさわ（Facebook）で投稿する。
- ・ 子育て支援団体だと保育の有無も大きい。広報で追加して準備したほうが良い。
- ・ 湘南台はファミサポに話しをしておいたほうが良い。
- ・ 無作為抽出による案内は検討中である。

- ・ 団体ごとの対応は、ケースバイケースになると思う。
- ・ 手話はお願いしてみる。ワークと発表で対応が必要かも知れない。
- ・ 関係団体へのチラシ、案内状の作成を事務局で急ぐこと。次回又は次々回の検討委員会、部会には渡せるようにしたい。

(進行等について)

- ・ 設置、撤収は、企画政策部で対応する。
- ・ 主張がテーマに含まれていない参加者に対してどのように対応するのか。テーマに基づいていくのか、参加者のなかからテーマ設定していくかの動きはどのようにするかは決めておかなければならない。
- ・ その場での人数の帳尻合わせは難しい。事前に人数に対応するテーマ数を検討しておくべきである。
- ・ 専門部会員はファシリテーターなのか。
  - ◇ 何人かはお願いしたいと考えている。純粹な進行役と捉えている。
- ・ 個人意見を書く帳票を作っておく。
- ・ ポスターセッションや、模造紙に付箋を貼っていくようなイメージもあると思う。賛成票、「いいね！」のようなポイントをシールでつけていくのも良い。事業レベルの話題が多いと思われるので、施策に集約する作業を意見交換しながら進めていただく時間を設けたい。
- ・ テーマ別に10分セッションで区切っていけば、議論も進めやすい。
- ・ 事業レベルの要望の取扱としては、指針での検討と、担当課への情報提供という形が良い。市民相談情報課の市長要望を案内し、郵送してもらうのも可能であろうと思う。
- ・ 課題を鮮明にすればするほど答えが求められるので、そうした状況は回避したい。課題に対する主体性を市に問われてしまう。課題を曖昧にしておいたほうが良い。
- ・ 意見交換の趣旨を含めて、当日の発言のゴールとしてどういうレベルを期待されているかについては、例示をしておくことが必要である。
- ・ 市民は事業の話が中心になるので、施策レベルに昇華させることも必要である。グルーピングで処理する。
- ・ 事業の原因となる部分に焦点をあてて、課題を洗い出していくことが必要

である。

- ・ 事業に対する意見を出してもらい、それをグループ化することで施策化していくという作業フローが見えたほうが分かりやすいと思う。
- ・ 議論のルール説明（場の認識、ゴールと作業）を明確にしておくべき。
- ・ 進め方の認識を共有化するための質問時間を設ける。
- ・ 7月3日の専門部会に事務局案を提示する。3日で確定していきたい。
- ・ テーマ設定のレベル感がやはり難しい。ばらつきが出る可能性が高い。
- ・ 基本目標8本を基本としていくのだが、その中での議論のかみ合いをみて分けていく。1セッション目は網羅的で、2セッション目は決め打ち。メンバー数を見ての対応も必要である。
- ・ 自由に移動するやり方は難しい。疎外感やこれまでの経過が分からないのはマイナスである。
- ・ 2セッション目は、「発信・共感」「創造」「改善・発展」などの括りか、「未来に向けて今から」「これまでの改善」など
- ・ 模造紙での意見聴取が前提であれば書記は不要かも知れない。誰がどうゆう発表を進めていくのかも決める必要がある。
- ☆ 最後に発表の結果を模造紙として眺めてもらう時間を設ける。発表は市民が基本である。
- ・ 全体の流れは30分：説明、質疑：10分、1セッション目：自己紹介10分＋意見交換30分＋発表15分、2セッション目：自己紹介10分＋意見交換30分＋発表：15分（2時間30分）とすれば、4テーマと6テーマを仮設定しておく。
- ・ 各部長には出席を依頼していくが、意見交換に入るのは別問題かと思う。
- ・ 課題と課題の裏返しの施策を聞いていくことが重要である。そうでなければ市の考えを聞かれてしまう。数値データ等も用意しなければならない。
- ☆ 施策に対しても聞かれないことはない。教えていただく姿勢で傾聴すれば良いのではないか。来ていただいて、時間を割いていただいてありがたいという考えで臨むべきである。

#### (4) 指針の名称について

構成が決定したので、依然提案いただいたものを再考してご提案いただきました

い。

(4) その他

今後のスケジュールについて確認した。

## 平成 25 年度第 5 回 新たな市政運営の総合的な指針庁内策定検討委員会議事概要

1 日時 2013 年 6 月 27 日 (木) 午前 10 時 15 分～11 時 10 分

2 議題

(1) 検討委員会及び専門部会の開催結果について (資料 1 - 1～1 - 3)

資料 1 - 1 (第 4 回検討委員会), 資料 1 - 2 (第 5 回専門部会), 資料 1 - 3 (第 6 回専門部会) について, 議事概要として説明した。

- 質疑なし。

(2) 議員全員協議会の開催結果について (資料 2)

資料 2 について, 議事概要として説明した。

- いただいた意見を確実に実施していきたい。策定の考え方を市民に広めていくのは構わないが, やり方やどのタイミングでやるのかという点は調整をして進めたい。
- 前々から概ね理解はいただいているという認識である。意見としては, 進めることを是とした意見として捉えて良いと思う。ポイントは多くの市民の声を聞いたかということかと思うので, 今後の意見交換会等の持ち方は十分に検討していく, 例えば新たな手法の採用等についても実施していかなければならない。広報周知については, 市長からの声を伝えること, 毎号進捗を示す等を実施していきたい。重点方針については各部の施策がどの程度反映できるのかが部長の力量であるし, 重点施策には予算も人もつけていくような流れが必要であるとも考えている。
- 一定の理解はいただいていると考えている。分野別の重点課題調査のなかで, 対応を検討して, 長期的な視点, 困難性の高いものを棚上げにせず取り組んでいるということを明確にしていかなければならない。そのことが市民, 議会からのご理解をいただくために必要であると考えている。引き続きよろしくお願ひしたい。
- 今後 7 月末に市民, 関係団体向けの説明会, 意見交換会を実施する。情報発信という意味では理事者に出席いただくべきか。
  - ワークショップ形式とは具体的にどのような運営を想定しているのか。

- ◇ 基本目標の案をもとに集まっていたいて、意見交換をいただき、発表という流れである。グループでの意見交換については生の声を出していただく目的である。事務局としては、部長を含め、理事者が議論に参加するという事は、あまり想定していなかった。
- ◇ 市長の生の声でということであったが、文書、メッセージでということは可能か。
- ◇ 可能である。出席のお礼と見直しの理由をメッセージカードに示すような方向で進めたい。
- ◇ 部長には関係団体に意見聴取していただくことをきちんとやって欲しい。商議所、医師会等だけでなく、小規模多機能事業者なども含めて、生の声を含めた重点化作業を進めてほしいと思う。今回はどのような対象を設定しているのかによるが、問題意識の高い市民の方であると思う。今までにない形で意見聴取を進めているという姿を示すためにも、部長、課長に関係団体に広く聴取していくという方向では進めて欲しい。
- ◇ 秋は無作為抽出で一般市民に対する事業レベル。今回は施策中心なので、ある程度認識、知識、活動をお持ちの方が多と思う。関係団体には専門部会から声掛けを想定している。
- ◇ 特定課題に特化したことを言いたい方が集まられるのではないか。これまでの対象以外の方にも広げていきながら、話がかみ合うようにして進める必要がある。
- ◇ 待機児童の解消で例にとれば関係団体に意見を聴取することは難しい。子ども子育て新システムの検討途上であり、審議会からの意見聴取が限界であるかと思う。
- ◇ 指針には短期的にスピード感を持って、重点課題という形で既に絞られている。各部の判断で重点的にやるんだということなのか、関係団体に声を聞いた上で決定していけということなのか、最終的に重点施策にならなかったことの説明責任が生じてしまう。
  - 短期間で行政が決定しているというスタンスで良いのだが、意見を反映するというということではなく「聞く」というと

ころを設定していくことが必要である。策定後の説明も丹念に行う必要がある。日常の対話が施策に反映していくことは当然、意見、声を聞くプロセスというところが必要である。

- ◇ 分野別の重点課題を意識していただいて、ワークショップを進めていく必要があると思う。湘南大庭で過去に実施されたワークショップが参考になると思う。
- ◇ 27日、28日にはどの程度固めて臨むのか。
  - 一定のものは例でもお示しをしながら、進めていく予定である。
- ◇ のべ3万人と比較されても仕方がないので、丹念に聞いた、推進会議とも丹念にやっていくことが必要である。別な形での説明、発信も進めることで対応していきたい。挨拶等の機会にも含めていく。
  - 推進会議への説明、地区集会、説明会等を予定しているが、11月頃に市民説明会を実施していきたい。その際のワークショップは、無作為抽出した市民実感を、イベントをまとめたような形にできないかと検討している。

### (3) 分野別重点課題調査について

資料3-1、3-2により説明した。

- 曖昧なままで進めるのはいかがか。進め方について、決定したほうが良いのではないか。概算要求も並行して進んでいるので、その点の議論もしたほうが良いのではないか。
- 共通認識が必要である。ただ、課題については現時点では共通認識を持つ段階ではないが、市民の意見聴取の方法については認識を合わせる必要がある。もう一度タイムスケジュールとタスクを明確にして議論をする必要がある。この時点で、企画政策部で「誰に」「何を」「どのようにする」ということを明確にしていきたい。

## 市民ワークショップ・庁内周知の進め方について

## 1 開催目的

総合計画に替わる「(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針」については、長期的な視点を踏まえた喫緊の重点課題としての分野別重点課題と、それに対応する重点施策と取組方針を位置づけるもの。

市民ワークショップでは、これまでの策定経緯、指針の枠組み、2次案の重点方針の原案等をお示しし、分野別重点課題、重点施策、取組方針等に対して、広く市民や関係団体等からご意見を伺っていく。

## 2 開催日程

## (1) 湘南台公民館 地下1階ホール

2013年7月27日(土) 午後1時30分～4時

## (2) 明治公民館 本館4階ホール

2013年7月27日(土) 午後6時30分～9時

## (3) 鵜沼公民館 本館1階ホール

2013年7月28日(日) 午前10時～午後0時30分

## 3 対象者と周知方法

## (1) 一般市民：広報ふじさわ(7月10日号)

市民センター・公民館でのポスター掲示とチラシ配布

HP、カラフルふじさわ(フェイスブック)

## (2) 郷土づくり推進会議：市民センター・公民館から周知

## (3) NPO団体：市民活動推進センターニューズレターにチラシを同封

## (4) 関係団体への周知：各部判断で周知をいただくとともに、各種会合等において、周知をいただく。

#### 4 進め方

##### (1) 内容、時間配分 — 15人×4班想定

ア. これまでの経過説明 20分

—総合計画から新たな指針に至った経緯、1次案、重点方針の原案—

イ. 質疑 10分

ウ. 実施方法の説明とグループ分け 10分

エ. 分野別グループによる意見提案ワークショップ 70分

オ. 分野別グループごとの発表 30分（5分×4班+準備）

カ. 質疑等 10分

##### (2) 班編成の仕方

ア. 参加者：基本目標等を4つに分類し、概ね10～15人程度となるように分かれていただく。

(例) ○地震・津波対策

○都市基盤の再整備

○子育て環境の充実

○福祉、環境ほか

イ. 市側：庁内策定検討委員会専門部会員3人×4班とし、基本的に所属外の分野に配置する。欠員の場合は企画政策課職員を配置する。

##### (3) 机、椅子等のレイアウト (別紙)

##### (4) 役割分担

ア. ファシリテーター、書記、発表 — 庁内策定検討委員会専門部会ほか

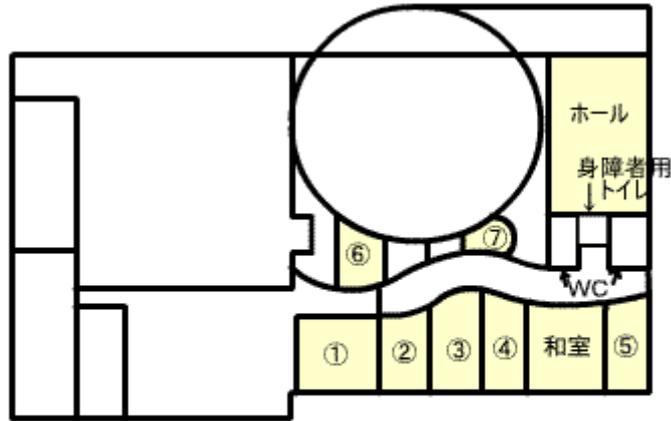
イ. 会場設置、撤収 — 企画政策課職員

##### (5) その他

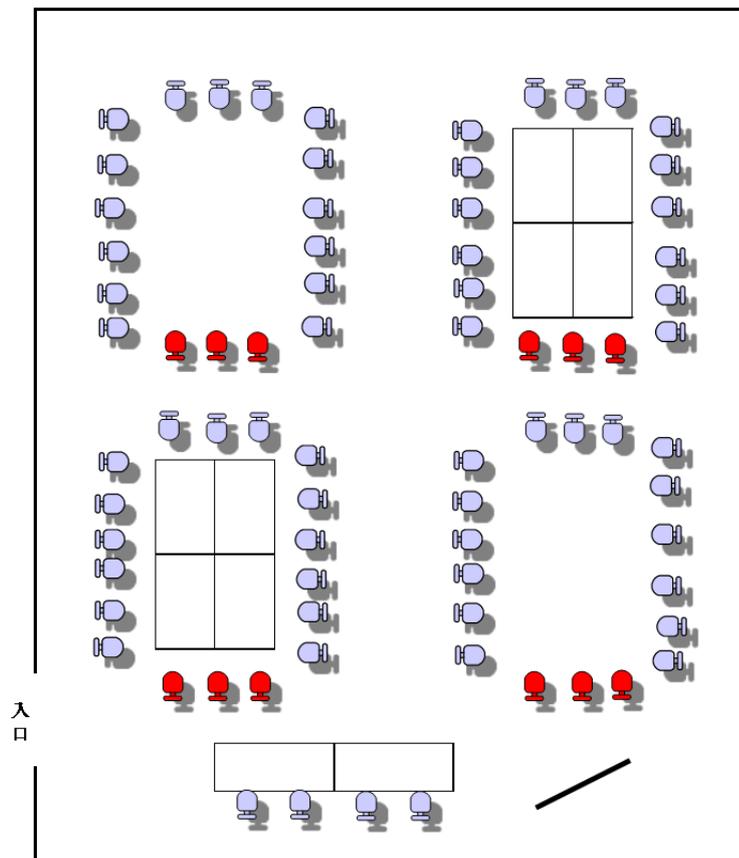
保育、手話（事前申込み）

【湘南台公民館 地下1階ホール】

2013年7月27日(土) 午後1時30分～4時



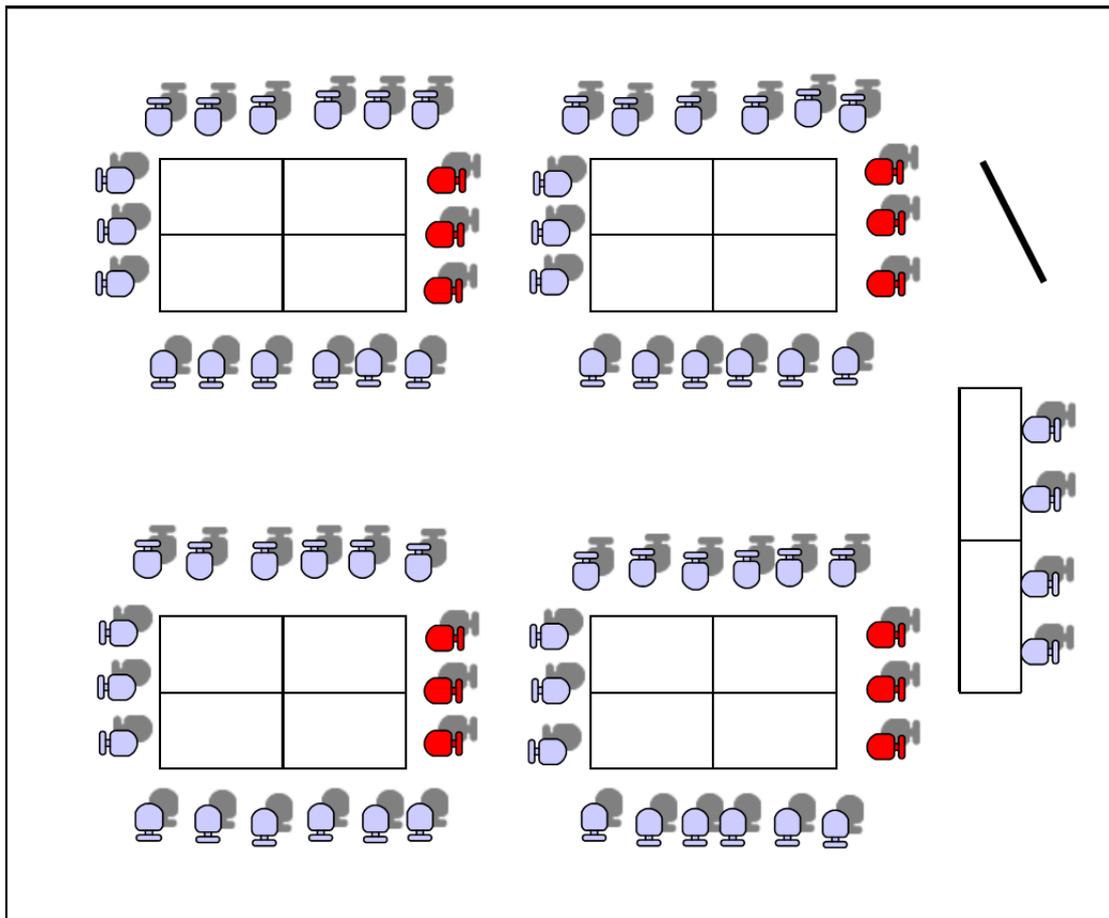
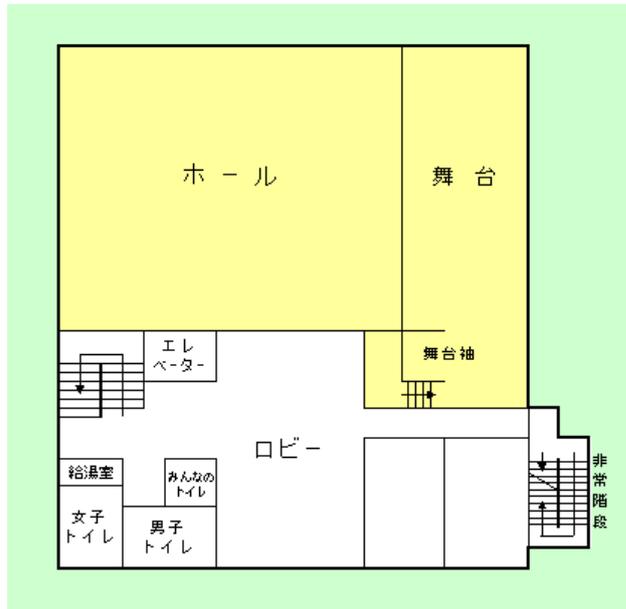
- ①第1談話室
- ②第2談話室
- ③第3談話室
- ④第4談話室
- ⑤調理室(実習室)
- ⑥文化室
- ⑦子供室



予備室 (保育等) - 地下1階の第1談話室

【明治公民館 本館4階ホール】

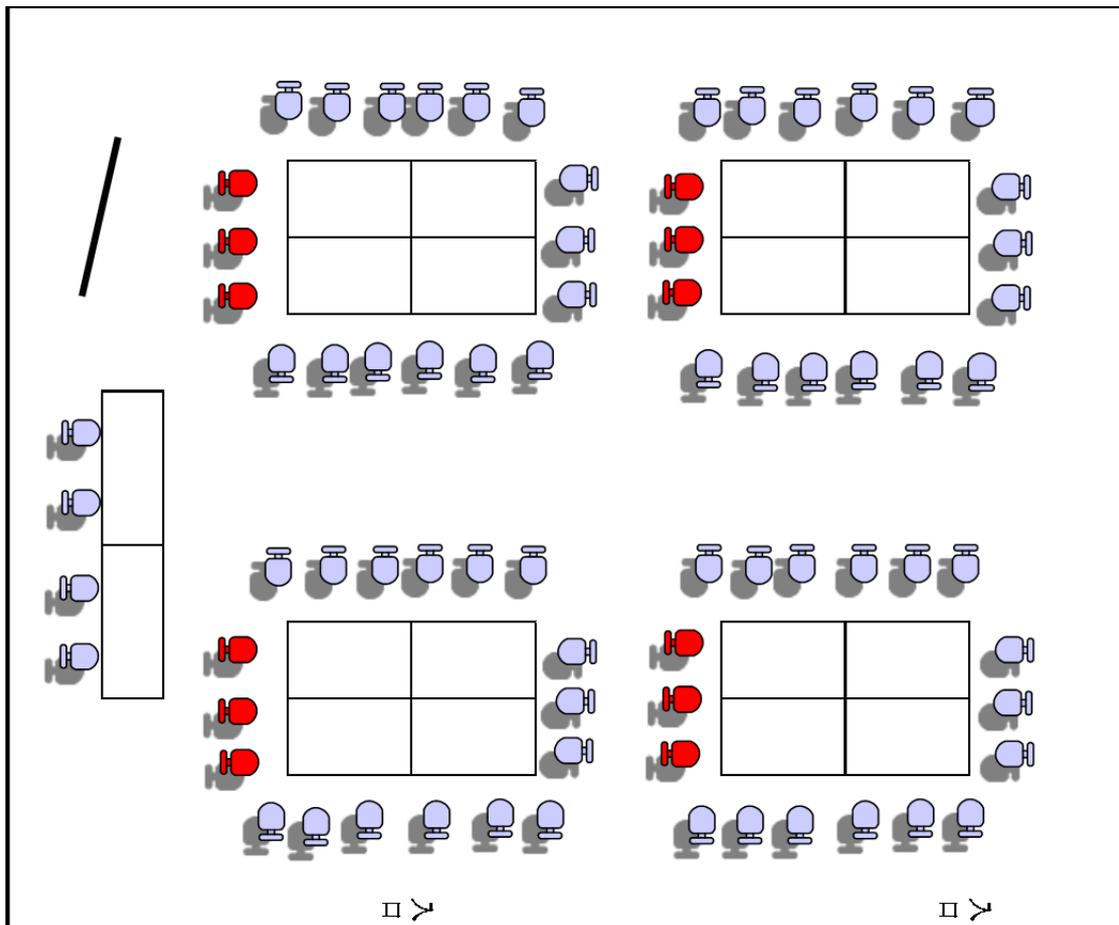
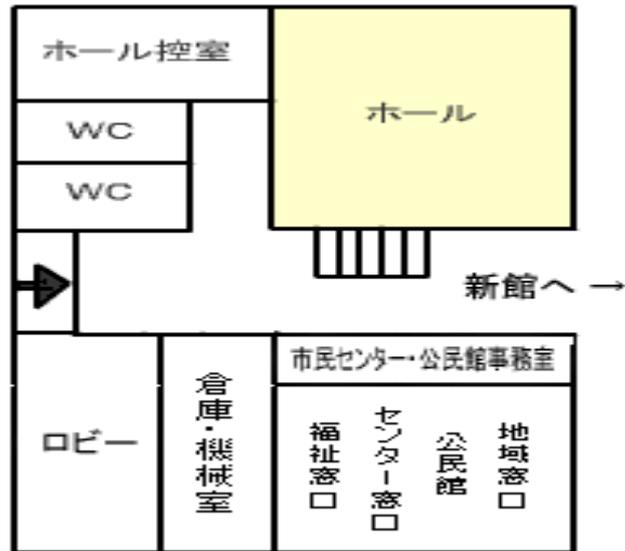
2013年7月27日(土) 午後6時30分～9時



予備室 (保育等) - 本館2階の第1談話室

【鵜沼公民館 本館1階ホール】

2013年7月28日(日) 午前10時～午後0時30分



予備室(保育等) - 新館2階の第1・2談話室

【今後の予定（市民説明会）】

- (1) 10月下旬頃、会場－北部地域、南部地域
- (2) これまでの策定経緯、2次案（第1章・第2章の具体案）を説明し、重点事業等に対してご意見をいただく。
- (3) 周知方法－20～50歳の無作為抽出者、大学等への参加呼びかけ